

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
富山県知事 新田 八 朗 殿		令和5年 6 月 5 日	
提出者 住 所 富山県高岡市本丸町67番地 氏 名 射水建設興業株式会社 代表取締役社長 夏野 公秀 電話番号 0766-26-5288			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業 廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称		射水建設興業株式会社	
事 業 場 の 所 在 地		富山県高岡市本丸町67番地	
事 業 の 種 類		総合建設業	
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間		令和4年4月1日～令和5年3月31日	
産業廃棄物処理計画における目標値 がれき			
項目		目標値	
項目		目標値	
排 出 量	4,500 t	全 処 理 委 託 量	4,500 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	4,500 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画における目標値 木くず

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	50 t	全 処 理 委 託 量	50 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	50 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画における目標値 廃プラスチック

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	5 t	全 処 理 委 託 量	5 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	5 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画における目標値 ガラス・陶磁器くず

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	3 t	全 処 理 委 託 量	3 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画における目標値 金くず

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	2 t	全 処 理 委 託 量	2 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画における目標値 その他がれき類

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	80 t	全 処 理 委 託 量	80 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	80 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画における目標値 建設汚泥

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	20 t	全 処 理 委 託 量	20 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	20 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画における目標値 石膏ボード

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	10 t	全 処 理 委 託 量	10 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

産業廃棄物処理計画における目標値 混合

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	50 t	全 処 理 委 託 量	50 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	50 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	- t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	- t

※事務処理欄

(様式第2号の9)産業廃棄物処理計画実施状況報告書 第2面(一覧)

別添
単位:トン/年

廃棄物の種類	排出量の 目標値	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自己中間処理のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫⑩のうち再生利用業者への委託量	⑬⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃 え 殻															
汚 泥	20	169.05									169.05		169.05		
廃 油															
廃 酸															
廃 アルカリ															
廃プラスチック類	5	3.98									3.98		3.98		
紙 く ず															
木 く ず	50	55.39									55.39		55.39		
繊 維 く ず															
動植物性残さ															
動物系固形不要物															
ゴ ム く ず															
金 属 く ず	2	4.52									4.52		4.52		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	3														
鋳 さ い															
が れ き 類	4,580	1,897.72									1,897.72		1,897.72		
動物のふん尿															
動物の死体															
ば い じ ん															
廃石膏ボード	10	7.0									7.0		7.00		
混合	50	59.368									59.368		59.368		
計	4,720	2,197.028									2,197.028		2,197.028		

注1 産業廃棄物排出量の目標値 : 様式第2号の9の第1面にて実施状況報告のなされた「産業廃棄物排出量の目標値」について集計し記入する。なお値は計のみを入力する。

注2 計画の実施状況 : 様式第2号の9の第2面にて実施状況報告のなされた「計画の実施状況」①～⑭の量について集計し記入する。

注3 廃棄物の種類 : 19種類に分類できない記述が報告書にある場合に限り、空欄に報告書に表示された種類を記入する。